

平成24年度

ふくおかしの 家計簿

目次

予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？平成24年度の予算は？…………… 01
- 収入（歳入）と支出（歳出）の内訳は？…………… 01～02
- 市民一人あたりにすると？…………… 03
- 予算を「家計」に例えると？…………… 04
- どのような事業に使うの？…………… 05～10

福岡市の財政状況はどうかの？

- 借金はいくらあるの？ 他の政令指定都市と比べるとどうかの？… 11
- 借金は何に使っているの？ なぜ借金が増えたの？…………… 12
- 収入や支出はどうなってるの？…………… 13～14
- 福岡市の財政状況のまとめ…………… 14

福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 財政健全化の取組みは？…………… 15～16
- 平成24年度における財政健全化の取組みは？…………… 17～18

福岡市の
平成24年度予算
○ 財政状況
○ 財政健全化に向けた取組み
を紹介します！

1 予算とは？ 何に使っているの？

〔この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。〕

●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計(一般会計、特別会計、企業会計)に区分しています。

●平成24年度の予算は？ ()は前年度

用語の解説

一般会計
福祉、教育などの行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。

◎**全会計 1兆8,417億円** (1兆9,068億円) 前年度比 3.4%減

◎**一般会計 7,662億円** (7,662億円) 前年度比 微増

◎**特別会計 8,390億円** (8,903億円) 前年度比 5.8%減

◎**企業会計 2,365億円** (2,503億円) 前年度比 5.5%減

一般会計の予算は、過去最大規模となっており、政令指定都市(20都市中)では、大阪市、横浜市、名古屋市、札幌市について5番目の規模です。

特別会計は、使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。福岡市には現在17会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)があります。

企業会計は、民間企業と同じように事業収益で賄われている会計です。福岡市には、現在4会計(下水道、水道、工業用水、地下鉄)があります。

●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

①一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金があります。

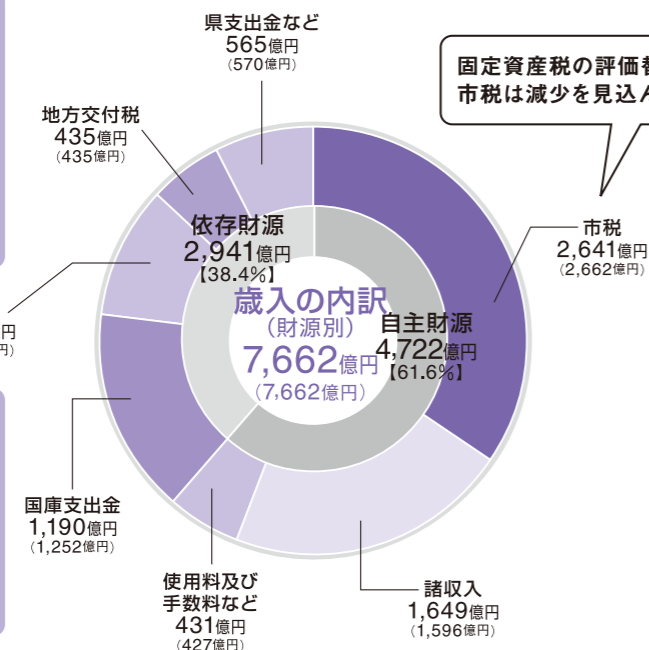
()は前年度、【 】は構成比

用語の解説

地方交付税
地方公共団体間の財源の不均衡を調整することによって、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう、国税の一定割合の額を、国が地方公共団体に交付するものです。

用語の解説

市債
道路や学校など長期間使用する施設建設などの財源として市が借り入れる長期借入金です。毎年度一定額を返済することで、市の財政負担を平準化します。



固定資産税の評価替え等の影響により、市税は減少を見込んでいます。

用語の解説

歳入・歳出
会計年度内の収入・支出の総称です。

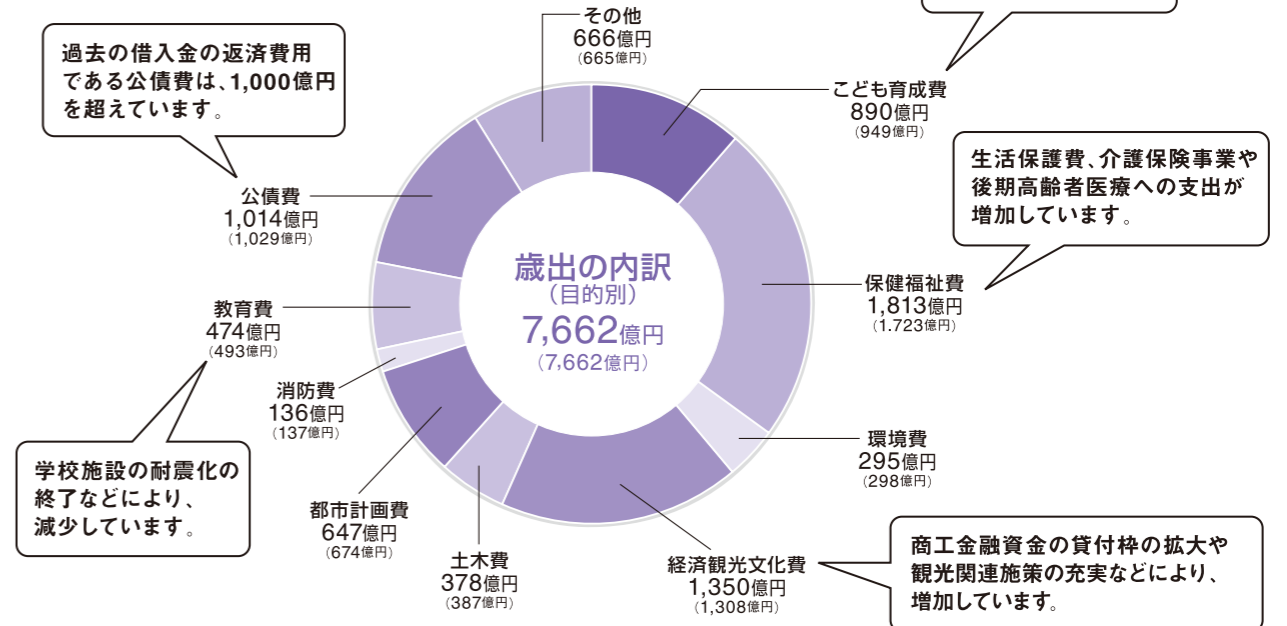
用語の解説

自主財源と依存財源
歳入には、市税など市が自らの判断で収入できる自主財源と地方交付税や国庫支出金(補助金)等、国などから割り当てられる依存財源とがあります。自主財源の比率が高いほど自主的な財政運営ができるといえます。

②一般会計の支出(歳出)

【目的別】

予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。()は前年度



【性質別】

予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からどれだけ使うのかが見ることができます。()は前年度、【 】は構成比

用語の解説

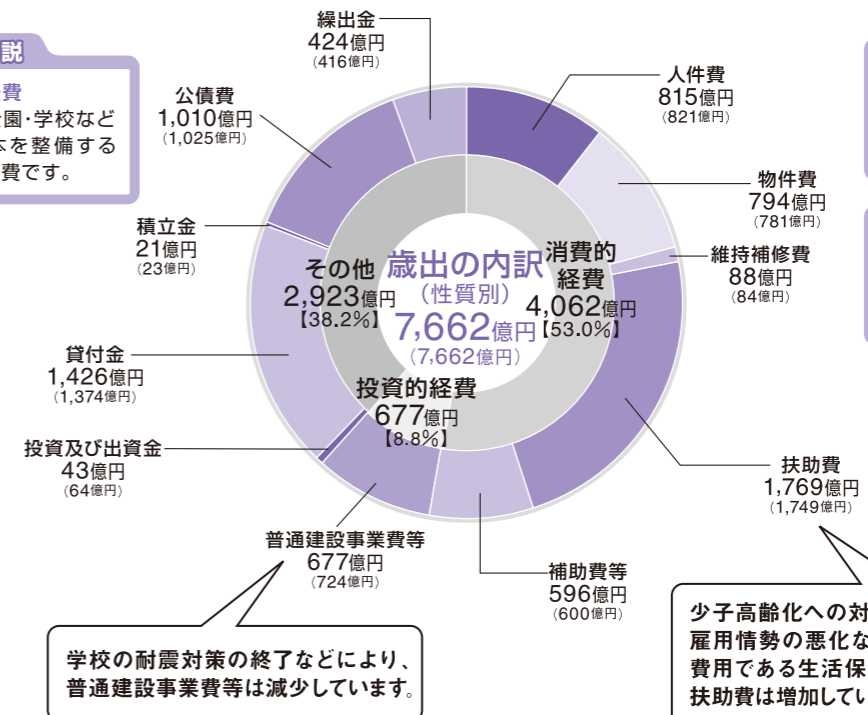
投資的経費
道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費です。

用語の解説

物件費
光熱水費、消耗品費、施設の管理費などです。













用語の解説

繰出金
国民健康保険など特別会計に支出する経費のことです。



●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約53万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成24年度予算		
	億円	円	市民1人あたりの予算
 保健・医療・福祉に 1,829 126,466 (23.9%) 高齢者も障がい者も誰もが住みやすいまちづくりを進めます。			
 地域経済の発展に 1,424 98,476 (18.6%) 待機児童の解消など、健やかな子どもの育成に積極的に取り組みます。			
 道路・住宅・計画的なまちづくりに 932 64,427 (12.2%) 浸水対策事業など危機に強い安全・安心のまちづくりに取り組みます。			
 こどもの育成に 893 61,713 (11.7%)			
 学校や教育に 548 37,891 (7.1%)			
 行政の運営に 529 36,582 (6.9%)			
 災害に強いまちに 426 29,458 (5.6%)			
 清潔なまちに 320 22,098 (4.1%)			
 地下鉄・水道事業の支援に 260 17,971 (3.4%)			
 地域活動・文化・スポーツに 190 13,114 (2.5%)			
 公園整備や緑の保全に 183 12,619 (2.3%)			
 新鮮で安全な食料の提供に 129 8,895 (1.7%)			
合計 7,662 529,710 (100.0%) 市民一人あたりの予算53万円は、20政令指定都市中、4番目の多さです。			

※平成23年12月末現在の人口(144万6,515人)で割っています。
 ※()内は、構成比を示しています。

●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(7,662億円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

ふくおか家・1カ月の家計簿

《収入》		《支出》	
給与	29万5,000円	家族の医療費(扶助費)	9万6,000円
うち基本給(市税などの自主財源)	17万6,000円	ローンの返済(公債費)	5万5,000円
諸手当(地方交付税、国・県支出金など)	11万9,000円	食費(人件費)	4万4,000円
銀行からの借入(市債)	4万1,000円	光熱費や通信費など(物件費)	4万4,000円
貸したお金の返済金(貸付金元利収入)	8万円	家・車・電化製品の修理・買い換え(維持修理費、普通建設事業費)	4万2,000円
		家族への仕送り(繰出金、補助費)	5万5,000円
		友人などへ貸すお金(貸付金)	8万円
計	41万6,000円	計	41万6,000円

義務的経費

ローンを5万5,000円返済する一方、新たな借入は4万1,000円に抑えました。借金残高を減らす努力をしています。

家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、46.9%となっています。

●どのような事業に使うの？

平成24年度は、福岡市民の「暮らしの質を高めるために、人と投資を呼び込み、都市の成長を実現する」という第一歩を踏み出すため、「暮らしの質の向上」と「都市の成長」を2本の柱として特に力を入れて取り組んでいくとともに、「人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市・福岡」の実現に向け、様々な重要施策を積極的に推進していきます。

暮らしの質の向上

安全・安心の確保

防災

東日本大震災を踏まえた避難支援対策の充実・強化 2,994万円

災害時要援護者の避難支援対策の充実や避難場所の標高標記のための調査、安定ヨウ素剤の備蓄等に取り組みます。

防災・マナー

街頭防犯カメラ設置補助事業 3,068万円

防犯カメラの普及促進を図るため、地域団体等が街頭に設置する防犯カメラに対する補助制度を創設します。



再生可能エネルギーの活用と省エネの推進

創エネ

メガソーラー発電設備の導入 3,098万円

西部(中田)埋立場に1MW規模のメガソーラー発電を整備し、アイランドシティの新青果市場の卸売棟大屋根への設置を検討します。

省エネ

事業所省エネアドバイザー派遣支援事業 540万円

中小企業の省エネ対策を推進するため、省エネ診断の実施とその後の円滑な省エネを図るための定期的な専門家派遣の支援を実施します。

「ユニバーサル都市福岡」の実現



ユニバーサル都市福岡の推進 2,665万円

国際ユニヴァーサルデザイン会議の開催やフェスティバルの実施を契機として、「ユニバーサル都市福岡」を推進します。

施設のバリアフリー

ユニバーサル都市福岡の実現に向けた公共交通支援 1,250万円

バス利用者のための公共によるバス停上屋・ベンチの設置検討及びモデル事業を実施します。

高齢者

安心情報キット配付事業 1,585万円

ひとり暮らし高齢者など地域での見守りや災害時に支援が必要な方へ、緊急連絡先等の情報を保管する専用キットを配付します。

障がい者・児

障がい者グループホーム設置促進等事業 1億65万円

地域における障がい者の住まいの場として、グループホーム設置等に関する支援の充実を図ります。

子ども

子育て休日・夜間サポート事業 1,745万円

虐待防止策強化に向けた、休日・夜間の相談支援及び安全確認を行う体制の充実を図ります。

都市の成長

将来を担うグローバルな人材の育成

グローバル チャレンジ イン 釜山 900万円

釜山広域市の英語体験施設「釜山グローバルビレッジ」の夏期キャンプに中学生を派遣します。

都市の機能や魅力の向上

ゲートウェイ 福岡都市高速道路の整備 3億6,600万円

都市高速5号線を整備し、都市高速を環状化します。(※平成24年夏頃供用予定)



都心再生 拠点文化施設検討経費 1,550万円

拠点文化施設(市民会館)の基本計画策定に向け、施設概要、運営、整備場所、事業手法などを検討します。

コンテンツ コンテンツ・エンターテインメント都市づくり推進事業 8,502万円

コンテンツ産業の振興と海外展開を図るとともに、コンテンツを活かしたまちの賑わいづくりを推進します。

戦略的な観光・集客

歴史・文化 御供所地区の歴史に配慮したみちづくり 2億1,050万円

歴史と文化が息づく博多部への導入路として承天寺周辺道路及び(仮称)辻堂口門を整備し、来訪者を呼び込む観光拠点づくりとともに博多部の回遊性を向上させます。



(仮称)辻堂口門イメージ

デジタル 日本で唯一の歴史資源活性化事業 6,700万円

鴻臚館跡・福岡城跡などにおいて、デジタル技術等、当時の情景を体感できるような仕組みの導入など、魅力向上に取り組みます。

魅力発信 公衆無線LAN環境整備 3,479万円

海外からの来訪者をはじめ全ての人々が無料で利用できる公衆無線LANの環境を整備します。(整備拠点:地下鉄全駅、本庁舎1階・西広場など)

コンベンション 第2期展示場等の検討 1,200万円

ウォーターフロントエリアにおける第2期展示場の整備に向けた検討を行います。

積極的な投資の誘引

企業立地促進制度の実施 4,000万円

企業立地の促進に向けた施策を体系化するための条例を新たに制定し、アジアの企業や福岡を拠点にアジアへ挑戦する企業の誘致に取り組みます。

第二産学連携交流センター整備 1億9,953万円

第二産学連携交流センターを整備し、企業の研究部門等の進出を促進します。



を大切にし、すべての人が夢を持ち、

活躍できる「ユニバーサル都市福岡」の実現

1. 誰もが活躍できるまちづくり

生活を支えるしくみの確保、障がい者の自立と社会参加の促進、高齢者の福祉の向上、バリアフリーの推進、男女共同参画社会の実現、ワーク・ライフ・バランスの推進、すべての人の人権が尊重される社会の実現に努めます。

介護支援ボランティア事業 967万円

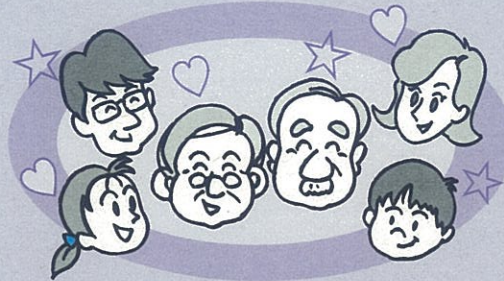
高齢者の社会参加・介護予防促進のため、介護施設等におけるボランティア活動への支援の仕組みをつくります。

ときめきプロジェクト・障がい者施設商品販路拡大支援事業 1,739万円

障がい者施設商品のPRのためのキャンペーン等の実施や、販路先開拓のための営業アドバイザーの派遣を行います。

特別養護老人ホーム等の施設整備 13億5,926万円

特別養護老人ホーム建設等に対する助成を行い、401人分を整備します。



2. 健やかな子どもの育成

安心して生み育てられる環境づくりや子どもたちが様々な体験・活動ができる場や機会の提供に取り組むとともに、児童虐待防止に向けた取組みを充実します。

保育所待機児童の解消 20億8,890万円

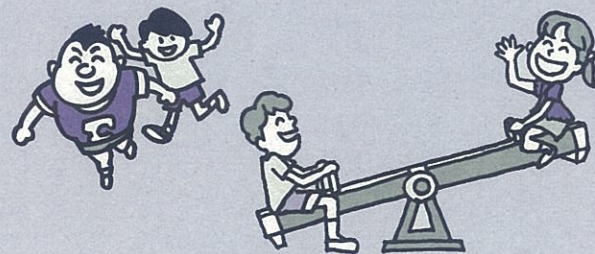
新築、増改築、分園、家庭的保育事業などの手法により、平成24年度は730人分の整備を実施し、平成23年度補正予算での前倒し実施分と合わせて、1,400人分の保育所整備を行います。

発達障がい児放課後等支援事業 2,034万円

通常学級や特別支援学級に通学する発達障がい児に放課後等の活動の場を提供し、保護者の就労やレスパイトの時間の確保を図ります。

「ミニ・ふくおか」・「中高生夢チャレンジ大学」の開催 2,730万円

小中学生対象のまちづくりや仕事などを体験する「ミニ・ふくおか」や、中高生対象の福岡で活躍する職業人が講師を務める「中高生夢チャレンジ大学」を実施し、福岡を拠点に活躍していく人材を育成します。



3. 教育力の向上

福岡らしい国際教育の展開など学力向上の取組みや郷土に愛着を持たせる教育を積極的に推進していくとともに、不登校・ひきこもり対策や良好な教育環境の充実に図ります。

福岡らしい国際教育 4億351万円

ネイティブスピーカーの配置強化や、釜山市で開催される「アジア・ユース・教育フォーラム」への高校生の派遣などにより、小・中・高等学校での外国語教育の充実に図ります。



学校給食センター再整備 28億3,744万円

老朽化が進んでいる給食センターの再整備を進め、食物アレルギーの対応や中学校食器の個別食器への変更など、給食の充実に図ります。



特別支援教育支援員等の配置 1億1,391万円

小中学校等に在籍するLDやADHD等障がいのある幼児・児童生徒の支援を行うための支援員を増員します。



4. 健康づくりとスポーツの振興

がん検診の受診率の向上や心の病についての相談や知識の普及啓発に努めるとともに、スポーツ施設の整備に向けた取組を進め、こころとからだの健康づくりを推進します。



働く世代への大腸がん検診推進事業 7,161万円

節目年齢の市民に対し、大腸がん検診無料クーポン券等を送付するとともに、希望者に検査キットを郵送し、大腸がんの早期発見を目指します。

大規模スポーツ大会開催・誘致検討 2,193万円

市民スポーツの振興のため、フルマラソン大会開催の検討やフィギュアスケート・グランプリファイナルの誘致に取り組めます。

5. 多様な主体との共働と住民主体のまちづくり

NPOをはじめとする多様な主体との共働や住民主体の地域活動を支援するとともに、市民が集い活躍できる場の確保に取り組めます。

香椎副都心公共施設整備 5,694万円

香椎副都心公共施設用地において、市民センター機能を中心とした公共施設整備に取り組めます。

「環境」

を大切にし、

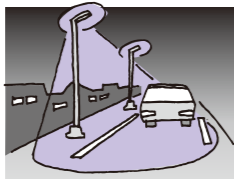
質の高い暮らしができるまちづくり

6. 環境共生型のまちづくり

再生可能エネルギーの積極的な導入や、市民・事業者の省エネの取り組みへの支援、市民・事業者・行政の連携によるごみの減量・リサイクルに取り組みます。

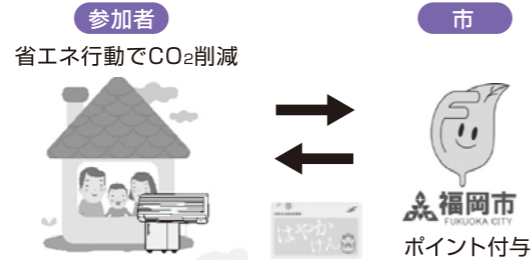
直営灯のLED化推進事業 6,000万円

市管理の既設道路照明灯にLED照明灯を導入し、省エネ化及び維持管理費の削減を図ります。



省エネチャレンジ応援事業 953万円

家庭の省エネで削減できたCO₂排出量に応じて、交通ICカードのポイントを付与し、市民の省エネ行動の促進を図ります。

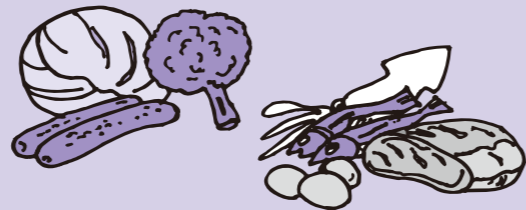


7. 食と環境を支える農林水産業

新鮮で安全・安心な農林水産物の供給や販路拡大に取り組むとともに、新たな担い手の育成や参入を促す取り組み、地域の活性化及び中央卸売市場の整備を促進します。

新青果市場整備事業 54億5,967万円

青果物を安定供給していくため、青果部3市場(青果・西部・東部の各市場)を統合し、新青果市場をアイランドシティに整備します。



8. 安全で安心な都市環境

防犯対策の強化や自転車対策・モラルマナーの向上に取り組むとともに、災害時要援護者の支援など大震災を踏まえた災害対策を充実します。

警固公園再整備事業 3億6,860万円

見通しをよくするなど、安全・安心な憩いの空間となるよう再整備を行います。



地域防災計画の見直し 400万円

東日本大震災を踏まえ、専門家の知見や市民の意見を取り入れながら、地域防災計画の全面的な点検・見直しを行います。

車道における自転車走行空間整備の推進 1億8,000万円

すべての人が道路を安全に利用できるように、自転車が車道を通行しやすい路側幅の確保や側溝の改良などの整備を推進します。

「都市」

の魅力に磨きをかけ、

活力に溢れるまちづくり

9. 観光・集客都市づくり

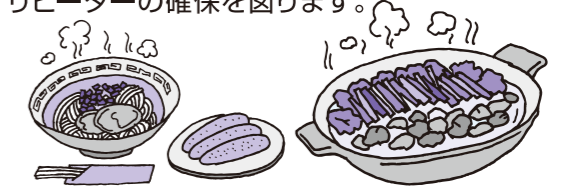
歴史・文化の観光資源としての魅力向上や外国クルーズ客船をはじめとする国内外の来訪者へのおもてなしを充実するとともに、コンベンション機能の強化に取り組みます。

吉武高木遺跡環境整備 7,720万円

日本最古の王を葬ったとされる吉武高木遺跡を広く市民に公開するための整備を行います。

福岡で「もう一泊」推進事業 1,920万円

「もう一泊したくなる街・福岡」をテーマに、食の魅力発信、ライトアップによる夜の賑わい創出を行い、観光客の滞在時間の延長及びリピーターの確保を図ります。



10. 地域経済の活力ある都市づくり

コンテンツ産業、情報関連産業、ナノテクノロジーなどの科学技術を基盤とした新しい産業などの知識創造型産業の振興と集積を図り、地場企業の国際ビジネス支援や中小企業の競争力・経営基盤の強化に取り組みます。

研究開発拠点形成促進事業 2億6,570万円

第二産学連携交流センター整備や有機光エレクトロニクスの実用化促進など、アジアの研究開発拠点の形成を促進します。



11. 国際ビジネス拠点の基盤整備

陸・海・空の玄関口の機能強化や総合交通体系の整備、アイランドシティや九州大学学術研究都市構想の推進、都心部のまちづくりを進めます。

都心部の国際競争力強化 1,433万円

「特定都市再生緊急整備地域」の国指定を受けた福岡都心地域において、国の重点的な支援を受けながら、民間都市開発や拠点インフラ整備を推進し、官民一体で都市再生に取り組みます。

箱崎ふ頭整備事業 3億3,400万円 (国際・国内ROROターミナル)

国際・国内ROROターミナルと鉄道ターミナルのアクセス向上に向けた臨港道路の整備を行います。



12. 市民サービスの向上と効率的な市役所の実現

最少の経費で最大の効果を発揮できるように、適正な組織体制の構築や民間委託化の推進などにより、市民サービスの向上と効率的な市役所を実現します。

コンビニエンスストアにおける証明書自動交付 2,129万円

コンビニエンスストアのキオスク端末で、住民票の写しや印鑑登録証明書等を自動交付するサービスを8月から開始します。